

- 問1 17世紀末から18世紀初めにかけて、京都や大阪などの上方の町人を中心として栄えた文化の特色を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 寝殿造の建物が造られ、紫式部や清少納言によってかな文字を用いた優れた文学作品が生み出された。 | 2. 雪舟が水墨画を大成させ、茶の湯や生け花など、現代の日本文化につながる簡素な美しさを尊ぶ文化が広まった。 | 3. 井原西鶴が浮世草子を書き、近松門左衛門が人形浄瑠璃の台本を執筆するなど、庶民の生活を題材とした作品が人気を集めた。 | 4. 狩野永徳が城の障壁画を描き、南蛮貿易の影響を受けてキリスト教や西欧の技術が伝えられた。 |
|---|--|--|--|
- 問2 1841年に老中の水野忠邦が着手した「天保の改革」において、江戸の物価高騰を抑える目的で行われた政策はどれですか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 大名や旗本の借金を帳消しにするため、棄捐令を発令した | 2. 特権商人による独占を廃止するため、座の解散を命じた | 3. 農村の荒廃を防ぐため、江戸にいた農民を強制的に故郷へ帰した | 4. 商人の営業独占が物価高を招いていると考え、株仲間の解散を命じた |
|-------------------------------|------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
- 問3 1669年、北海道(蝦夷地)において首長シャクシャインを中心にアイヌ民族が蜂起した「シャクシャインの戦い」が起こりました。この戦いが起きた背景として、当時の社会状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. キリスト教の布教活動が松前藩によって弾圧され、信仰の自由を求めたアイヌの人々が反発したこと | 2. ロシア船の来航に備えるため、幕府がアイヌの人々を兵士として強制的に徴用しようとしたこと | 3. 松前藩がアイヌの人々との交易において、一方的に不利な条件を押しつけるなどの不当な支配を強めたこと | 4. 江戸幕府が蝦夷地全域に検地を実施し、アイヌの人々に対しても米による重い年貢を課したこと |
|--|--|---|--|
- 問4 江戸幕府は江戸を中心として5つの主要な街道を整備しました。そのうち、現代の新幹線がほぼ同じルートを通っていることで知られ、江戸から京都・大坂方面へと至る、当時最も利用者の多かった街道を何といいますか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 東海道 | 2. 甲州街道 | 3. 奥州街道 | 4. 中山道 |
|--------|---------|---------|--------|
- 問5 江戸幕府の仕組みが整えられていく過程で、第3代将軍によって武家諸法度が改定され、大名が1年おきに江戸と自分の領地を往復することが義務づけられました。この制度を何といいますか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 参勤交代 | 3. 門跡制度 | 4. 封建制度 |
|----------|---------|---------|---------|
- 問6 17世紀末から18世紀初めにかけて、京都や大阪などの上方を中心に、経済力を蓄えた町人の生活や感情を反映して栄えた文化を何といいますか。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 東山文化 | 2. 桃山文化 | 3. 化政文化 | 4. 元禄文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 江戸時代中期の政治において、幕府の財政を立て直すために商人の経済力を利用しようとし、同業者組織を積極的に公認・奨励して税を徴収した人物と、その組織名の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|---------------|---------------|
| 1. 徳川吉宗 ― 座 | 2. 松平定信 ― 座 | 3. 田沼意次 ― 株仲間 | 4. 水野忠邦 ― 株仲間 |
|-------------|-------------|---------------|---------------|
- 問8 江戸時代の幕藩体制における村の統治について、庄屋・組頭・百姓代から構成される「村方三役」の説明として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 幕府から直接派遣された武士の役人が、年貢の徴収を管理した。 | 2. 城下町に住む有力な商人が、農村の特産物を買取るための組織であった。 | 3. 村の中から選ばれた有力な百姓が、村の行政や年貢の納入実務を行った。 | 4. 土地を失った小作人が、地主の代理として村の揉め事を裁定した。 |
|----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
- 問9 江戸時代に整備された海上交通路である「西まわり航路」について、出発地から目的地までの経路を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 日本海沿岸の酒田を出発し、日本海を南下して下関を通り、瀬戸内海を経て大阪へ至る経路。 | 2. 日本海沿岸の酒田を出発し、津軽海峡を越えて太平洋側を南下し、江戸を経由して大阪へ至る経路。 | 3. 出羽国の酒田を出発し、敦賀で一度荷物を下ろして陸路を通り、琵琶湖の小型船に積み替えて大阪へ至る経路。 | 4. 九州の長崎を出発し、対馬海峡から日本海に入り、北陸地方の各港を経由して大阪へ至る経路。 |
|---|--|---|--|
- 問10 欧米諸国の近代化の過程において、1600年代のイギリスで起こった名誉革命の翌年に制定された「権利の章典」は、政治体制にどのような変化をもたらしましたか。その説明として最も適切なものを選んでください。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 国王の権限を法や議会によって制限し、立憲君主制の基礎を築いた。 | 2. 身分制度を完全に廃止し、すべての国民に平等な参政権を即座に与えた。 | 3. 教会の権威を全面的に否定し、国王を宗教上の唯一の首長とする制度を確立した。 | 4. 国王の絶対的な権力をさらに強固なものとし、中央集権国家を完成させた。 |
|------------------------------------|--------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問11 1664年ごろの大名の配置において、鳥取の池田氏、高知の山内氏、秋田の佐竹氏のように、関ヶ原の戦い以降に徳川氏に従い、江戸から遠い場所へ領地を指定された大名を何と呼びますか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|-------|---------|
| 1. 旗本 | 2. 外様大名 | 3. 親藩 | 4. 譜代大名 |
|-------|---------|-------|---------|
- 問12 江戸時代の長崎貿易において、国内各地の鉱山から集められた銅が主に輸出されていた相手国の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|-------------|---------------|----------|
| 1. イギリスとポルトガル | 2. ロシアとアメリカ | 3. 清（中国）とオランダ | 4. 朝鮮と琉球 |
|---------------|-------------|---------------|----------|
- 問13 江戸時代に本居宣長が大成させた「国学」の目的や背景について述べた文として、正しいものを選んでください。 (2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 身分制度を否定し、すべての国民が平等であるという民主主義的な思想を確立しようとした。 | 2. 武士が政治を行う正当性を裏付けるために、朱子学に基づいた道德観を全国に普及させた。 | 3. 欧米諸国の科学技術を取り入れることで、日本の近代化を推し進めることを最大の目的とした。 | 4. 仏教や儒教などの外来思想が伝来する前の、日本古来の考え方や精神を明らかにしようとした。 |
|---|--|--|--|
- 問14 17世紀初めに薩摩藩の侵入を受けた後も、中国の明や清との間で伝統的な貿易を続け、日本の幕藩体制に組み込まれつつ独自の外交関係を維持した、現在の沖縄県にあたる王国を何といいますか。 (2023年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 1. 松前藩 | 2. 安平王国 | 3. 対馬藩 | 4. 琉球王国 |
|--------|---------|--------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 井原西鶴が浮世草子を書き、近松門左衛門が人形浄瑠璃の台本を執筆するなど、庶民の生活を題材とした作品が人気を集めた。	江戸時代中期の元禄文化を代表する動きです。この時期、幕府の政治が安定し、上方（京都・大阪）の経済力が向上したことで、町人が文化の担い手となりました。井原西鶴は町人の欲望や生活をリアルに描く浮世草子を確立し、近松門左衛門は義理や人情をテーマにした人形浄瑠璃の台本で人々の共感を得ました。
問2	答え 4 商人の営業独占が物価高を招いていると考え、株仲間の解散を命じた	水野忠邦は、物価が上昇している原因は「株仲間」による商品の買い占めや価格の操作にあると考えました。そのため、株仲間の特権を奪って流通を自由にすれば物価が下がると期待して「株仲間の解散」を命じましたが、実際には生産地から江戸への荷物の流入が滞り、かえって流通が混乱して物価をさらに不安定にする結果となりました。「座の廃止」は戦国時代の織田信長らによる政策であり、混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 3 松前藩がアイヌの人々との交易において、一方的に不利な条件を押しつけるなどの不当な支配を強めたこと	17世紀の江戸時代、幕府からアイヌの人々との交易独占権を認められていた松前藩は、当初は対等に近い形で行われていた交易の条件を、藩に有利になるよう一方的に変更しました。この不当な交易条件や、和人によるアイヌへの圧迫に対する不満が頂点に達したことで、首長シャクシャインを中心とした大規模な組織的蜂起につながりました。この戦いに敗れた後、アイヌの人々は松前藩への従属をより強く強いられることとなります。
問4	答え 1 東海道	江戸幕府が直轄した「五街道」の一つである東海道は、日本の政治の中心である江戸と、天皇の住む京都、経済の拠点である大坂を結ぶ最重要ルートでした。現代の新幹線のルートも、山を避け海岸沿いを進むこの歴史的な経路をほぼ踏襲しており、地形的・歴史的に一貫した交通の要所としての役割を担っています。
問5	答え 2 参勤交代	徳川家光が1635年の武家諸法度（寛永令）で正式に制度化したものです。大名に多額の費用を負担させることで経済力を奪い、さらに妻子を人質として江戸に住まわせることで、幕府への反抗を防ぐ狙いがありました。この制度により、江戸と地方を結ぶ街道や宿場町が大きく発展しました。
問6	答え 4 元禄文化	江戸時代中期のこの文化は、幕府の政治が安定し、上方（近畿地方）の町人が経済的な実力をつけたことを背景に発展しました。19世紀に江戸を中心に広まった化政文化や、戦国時代末期の桃山文化とは、時期や中心地が異なります。
問7	答え 3 田沼意次 ― 株仲間	田沼意次は、商工業者の同業者組織である株仲間を積極的に公認・奨励し、そこから貢加金（税）や運上金を徴収して幕府の収入を増やそうとした。一方、水野忠邦は天保の改革において、物価高騰の原因は株仲間による流通の独占にあるとして、株仲間の解散を命じた。「座」は主に室町時代の同業者組織である。
問8	答え 3 村の中から選ばれた有力な百姓が、村の行政や年貢の納入実務を行った。	江戸時代の村は、領主から一定の自治が認められていました。村方三役は武士ではなく、その村に住む有力な農民（百姓）の中から選ばれるのが一般的でした。庄屋（名主）が村の代表、組頭がその補佐、百姓代がこれら村役人の不正を監視する役割を担い、連帯責任制である五人組の仕組みなどと併せて、安定した年貢の徴収が図られました。
問9	答え 1 日本海沿岸の酒田を出発し、日本海を南下して下関を通り、瀬戸内海を経て大阪へ至る経路。	西まわり航路は、東北地方（山形県）の酒田を起点とし、日本海沿岸を西へ進んで本州西端の下関を回り、瀬戸内海を通して経済の中心地である大阪へと結びループです。この航路の確立により、東北や北陸の年貢米などが大量に「天下の台所」と呼ばれた大阪へ運び込まれるようになりました。
問10	答え 1 国王の権限を法や議会によって制限し、立憲君主制の基礎を築いた。	名誉革命によって、国王が議会の同意なしに課税したり法律を停止したりすることが禁止されました。これにより「国王は君臨すれども統治せず」という原則が形作られ、法律に基づいて政治を行う立憲君主制という仕組みが整いました。
問11	答え 2 外様大名	江戸幕府は、大名を徳川氏との親疎関係に基づいて「親藩」「譜代」「外様」の3つに分類しました。鳥取、高知、秋田といった江戸から離れた地域に配置された大名の多くは、関ヶ原の戦い以降に徳川氏に従った外様大名に該当します。彼らは広大な領地を与えられましたが、幕府の要職には就けず、配置によって厳しく監視されました。
問12	答え 3 清（中国）とオランダ	幕府が制限した「鎖国」体制下の長崎では、出島でのオランダ貿易と、唐人屋敷を介した清（中国）との貿易が行われていました。これらの国々から輸入する生糸や薬種などの代金支払いのために、日本の銅は欠かせない輸出資源となっていました。
問13	答え 4 仏教や儒教などの外来思想が伝来する前の、日本古来の考え方や精神を明らかにしようとした。	国学は、当時の日本で重視されていた儒教（中国の思想）や仏教（インド由来の宗教）といった外来の教えではなく、日本独自の古典（『古事記』『万葉集』『源氏物語』など）を研究対象としました。本居宣長は、そうした文献を通じて、外来の思想に染まる前の日本人のありのままの心や精神を究明しようとした。この思想は、のちに尊王攘夷運動など幕末の政治運動にも影響を与えることとなります。
問14	答え 4 琉球王国	1609年に薩摩藩の侵入を受けた琉球王国は、薩摩藩の支配下に入りつつも、中国（明や清）との朝貢貿易を継続することを許されました。これにより、江戸幕府は薩摩藩を通じて中国の物資を獲得することができました。